

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

基本方針

新規事業を迅速に拡大することにより、そこから期待される利益を株主に対して実現化できる企業を目指す

BTC保有数量
35102BTC

BTCイールド
568%

売上高予想
89億円

② 中長期の経営戦略

1. BTC保有数量の着実な拡大

市場環境および財務状況を踏まえながらビットコインの取得を継続。1株当たりBTC保有数量の成長（BTCイールド）を重視し経営指標として管理

3. 柔軟かつ規律ある資本政策

キャピタルアロケーションポリシーに基づき資金使途を最適化。優先株式の有効活用により1株当たりBTC価値を最大化しリファイナンスリスク最小化

2. ビットコイン・インカム事業の拡大

オプション取引等を通じた収益創出。安定的キャッシュ・フローを配当原資として、優先株式の配当支払能力強化と資本調達の好循環を構築

4. 永久型優先株式の活用

ビットコイン裏付けのデジタル・クレジット（メタプラネット・ブレフ）を通じ、インフレヘッジ手段として長期安定的な資本調達を実現

③ 対処すべき課題

① ビットコイン価格変動への対応

- ・市場環境変動時の機動的かつ規律ある資本政策実行
- ・BTCイールド最大化と希薄化リスク管理の両立

② デジタル・クレジット市場の形成

- ・市場環境・投資家理解・規制動向の不確実性対応
- ・本邦資本市場における新金融商品市場の段階的形成

③ 事業スケール化への人材体制構築

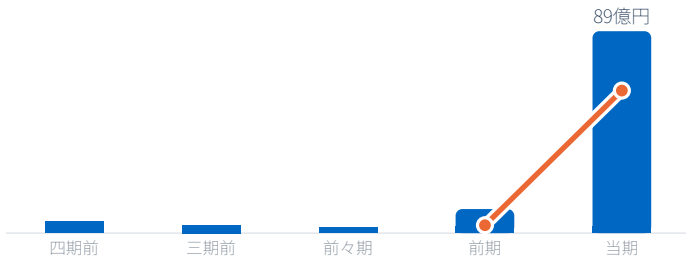
- ・ビットコイン・インカム事業拡大に伴う高度なグローバル人材登用
- ・高度かつリスク管理の行き届いた体制構築

面接で使えるポイント

- ・2025年末の35,102BTCから2027年末の目標値に向けた成長戦略と、その過程での1株当たりBTC価値最大化
- ・ビットコイン・インカム事業の売上高が30億円予想から89億円へ大幅上方修正された背景にあるオプション取引戦略
- ・ビットコインを裏付けとするデジタル・クレジット（永久型優先株式）という新たな資本調達スキームの革新性

証券コード 3350

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
89億円営業利益率
70.6%財務健康度
49点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 67.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,600万円
卸売業内 7位/282社平均年齢
48.9歳
卸売業内 15位/283社平均勤続
0.8年
卸売業内 282位/282社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: メタプラネットとは？ビットコイン投資戦略や株価推移、将来性を

